



川西小だより

笑顔で『 明るく 楽しく 元気よく 』

令和7年 1月31日
富田林市立川西小学校
TEL 24-3107
FAX 26-2306

★児童数配布

「つながり」を大切に

教頭 長谷 佳昭

朝、学校に来ると元気にあいさつしてくれる子どもたちがいます。このようなあいさつをもらうと、寒い朝からでも元気が出てきます。

眠たそうに登校してくる子もありますが、こちらから「おはようございます！」と声をかけると、しっかりあいさつを返してくれます。少し恥ずかしそうにしつつもペコリとお辞儀をしてくれる子もいます。校舎の2階から「おはようございます」と顔を出して声をかけてくれる子もいます。何かしらの反応があれば、こちらもうれしい気持ちになります。

当たり前のやりとりなのかもしれませんが、あいさつでのコミュニケーションは人と人をつなげる大切な役割を持っていると思っています。どのような形であれ、声をかけることで相手が良い反応をしてくれると、どちらもあたたかい気持ちになりますよね。

先日、川西小学校にお客さまが来校されました。私が応対していると、その横を子どもたち数人が通ろうとしていました。次の瞬間、その子どもたちから聞こえてきたのは「こんにちは！」の声。お客さまからは「いいあいさつですねえ。こちら気分がよくなります。」とのご感想が。

ほんの数秒の出来事にもかかわらず、「こんにちは」のひと言で人の心を豊かにさせる「あいさつ」のパワーの大きさを感ずることができました。

あいさつは漢字で「挨拶」と書きます。

気になったので、挨拶の漢字の意味を調べました。「挨」という文字にも「拶」という文字にも、「近づく」という意味があるようです。あいさつが相手の心に近づき、心を通わせるためのものであるとともに、人間関係が希薄であると言われる今こそ、人と人をつなげる大切なものだと思えて感じました。

私たち大人も、子どもたちのあいさつの手本を示したり、あいさつの大切さを伝えたりすることで、子どもたちの気持ちの良いあいさつにつなげていけるようにしたいものです。

